平成14年(2002年)の災害記録

- ・1月2日~3日の大雪・強風による積雪害・凍結害・強風害(冬型)
- ・5月15日の大雨による山がけ崩れ害(東シナ海低気圧)
- ・7月8日~9日の大雨・強風・波浪による

山がけ崩れ害・強雨外・海上波浪害(台風第6号、暖気移流)

- ・7月14日~16日の波浪による海上波浪害(台風第7号)
- ・7月25日~27日の大雨・強雨・強風による

山がけ崩れ害・強雨害・強風害(台風第9号・11号)

・8月29日~9月1日の大雨・強風・波浪による

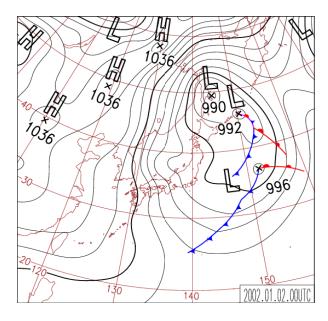
山がけ崩れ害・強風害・海上波浪害(台風第15号)

※目次に戻る場合は標題をクリックしてください。

1093 平成 14 年(2002 年)1 月 2 日~3 日の大雪・強風による積雪害・凍結害・強風害

(冬型)

[気象概況]1月2日から3日にかけ、上空5,500m付近で氷点下24℃以下の強い寒気が流れ込んだため、冬型の気圧配置が強まり、県の北部、西部の山沿いを中心に大雪となり、風も非常に強まった。



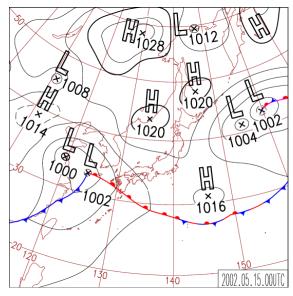
地上天気図 1月2日09時

極値表								
観測項目	観測	値	起時	観測地点				
	20.0m/s	西北西	2日 17h00m	豊後高田(a)				
日最大風速・風向	9.0m/s	西	2日 14h50m	大分				
口取入風迷。風问	7.4m/s	西	2日 17h40m	日田				
	12.4m/s	北西	2日 07h21m	大分空港				
	19.7m/s	西	2日 14h44m	大分				
日最大瞬間風速·風向	16.4m/s	西北西	2日 17h40m	日田				
	19.6m/s	北西	2日 11h33m	大分空港				
		3cm	2日	院内(委託)				
積雪の深さ		2cm	3日	竹田(委託)				
(担当の)木で		1cm	2日	湯布院(委託)				
	•	1cm	2日	大分空港				

[被害概況]2 日、県内は雪や風の影響で交通規制やフェリーの欠航が相次いだ。大分自動車道は朝倉インターチェンジー別府インターチェンジ・間、日出ジャンクションー速見インターチェンジ・間、宇佐別府道路は速見インターチェンジ・一宇佐インターチェンジ・間が通行止め。県道別府一の宮線(水分一熊本県境)、国道57号線(竹田市菅尾一熊本県境)など山間部の道路がチェーン規制された。船の便では、高速船ソレイユ(別府一呉)が全便(2便)、国道九四フェリー(佐賀関一三崎)、スオーナダ・フェリー(竹田津ー徳山)の一部が欠航した。また、積雪や路面凍結の影響により、西部山沿いを中心に2、3日の両日、衝突事故(スリップ・が主な原因)が続出した。

1094 平成 14年(2002年)5月15日の大雨による山がけ崩れ害(東シナ海低気圧)

[気象概況]5月15日東シナ海の低気圧からのびる温暖前線が九州中部を通過した。このため、温暖前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、前線の活動が活発となり大分県全域で大雨となった。15日には県下全域で130~220mmの大雨が降った。



頂吉 分橋 国見 豊後高田 添田 英彦山 耶馬渓 日田 玖珠 湯布院 天分 釈迦岳 南小国 温泉 翢 竹田 阿蘇乙姫 。 「阿蘇山 俵山 倉木 間の谷山

地上天気図 5月15日21時

降水量分布図 5月15日

5月15日の降水量(単位:mm)						
観測地点	降水量	日最大1時 間降水量	起時			
国見	131	11	08h00m			
中津	159	15	16h00m			
豊後高田	160	14	16h00m			
耶馬渓	186	14	08h00m			
院内	172	13	13h00m			
杵築	142	10	19h00m			
伏木	183	13	20h00m			
日田	153	14	20h00m			
別府	216	17	19h00m			
玖珠	146	12	19h00m			
湯布院	175	13	11h00m			
大分	177	15	19h00m			
佐賀関	134	10	16h00m			
釈迦岳	182	16	20h00m			
臼杵	129	10	19h00m			
温見	221	21	18h00m			
犬飼	165	11	19h00m			
竹田	172	19	19h00m			
出羽	163	12	18h00m			
佐伯	129	11	19h00m			
倉木	144	16	19h00m			
宇目	142	14	18h00m			
蒲江	153	14	18h00m			

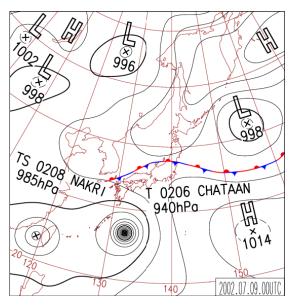
被 害 状 況							
死者·行方不明者		人	道路損壊	135	か所		
負傷者		人	橋の流失		か所		
被災者		人	鉄軌道被害		か所		
	全壊・全焼・流失	棟	山崖崩れ・地滑り	15	か所		
住家	半壊·焼·一部破損	棟	堤防決壊		か所		
正	床上浸水	棟	通信施設被害		回線		
	床下浸水	棟	木材流失		m^3		
耕地	流失•埋没	0.6 ha	山林焼失		ha		
初吧	冠水	ha	船舶被害		隻		
農業被害				か所			
辰未似百				139	万円		
水産業被害			隻		か所		
小庄未似古			m ³		万円		
林業被害				ha			
怀未似 百		か所			万円		
	陸上	運休 遅延					
交通	海上						
航空							
電力・水道被害							
电刀小坦拟百							
被害資料の入手先		大分県、大分!	県警察本部、大分合同新聞				
A - 王即 - 古光 - 1° - 10 - 1 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10							

[被害概況]15日大分市大字横尾「パークプレイス大分」西側の市道スポーツ公園中央線で幅30m、高さ10mにわたって法面内側の土砂が崩落した。大野郡三重町久田岩戸橋三重側国道502号線で幅20m、高さ3mにわたって土砂が崩落した。また、竹田市大字下坂田の市道で幅15m、高さ4mにわたって崩落し、道路を塞いだ。(交通機関)JRでは、久大本線は大雨の影響で18時25分から約3時間、野矢駅(九重町)ー湯平駅(湯布院町)間で運転を見合わせた。湯平駅ー南大分駅(大分市)間では断続的に徐行運転を行ったため、普通列車5本が運休するなどダイヤが乱れた。豊肥本線は熊本県内で徐行運転をしたため、普通列車4本が運休した。(農業被害)大分市を中心に大雨による麦の倒伏等の被害が16ha、139万円に及んだ。

1095 平成14年(2002年)7月8日~9日の大雨・強雨・波浪による山がけ崩れ害・強雨害・ 海上波浪害(台風第6号、暖気移流)

[気象概況]6月29日09時にトラック島近海で発生した台風第6号は、7月8日12時には南大東島の南東海上に達し、「非常に強い」台風となった。その後、北北東へ進み、9日15時には「強い」勢力を維持したまま種子島の南東海上に達した後、四国の南海上を北東へ進んだ。このため、大分県は南海上から暖かく湿った空気が流れ込み、9日昼前から夕方にかけ、南部、中部を中心に大雨となり、9日の日降水量は多い所で220mmに達した。

台風経路図 T0206

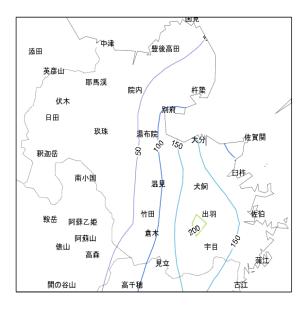


7/10 7/8 7/8 120 130 130 140 150 20

地上天気図 7月9日09時

台風第6号経路図 7月8日~11日

	7月8日~9日の日別降水量(単位:mm)							
観測地点	8日	9日	日別降水量合計	日最大1時間降水量	起時			
国見.	5	21	26	4	9日 12h00m			
中津	0	3	3	2	9日 14h00m			
豊後高田	3	25	28	6	9日 11h00m			
耶馬渓	0	3	3	2	9日 11h00m			
院内	8	16	24	8	8日 16h00m			
杵築	15	54	69	12	9日 13h00m			
伏木	0	0	0	0	_			
日田	0	0	0	0	_			
別府	9	98	107	19	9日 11h00m			
玖珠	6	8	14	4	9日 11h00m			
湯布院	1	34	35	9	9日 09h00m			
大分	5	181	186	33	9日 13h00m			
佐賀関	38	28	66	16	8日 12h00m			
釈迦岳	1	1	2	1	9日 13h00m			
臼杵	14	112	126	30	9日 12h00m			
温見	3	59	62	16	9日 09h00m			
犬飼	3	173	176	40	9日 13h00m			
竹田	1	42	43	14	9日 09h00m			
出羽	5	220	225	49	9日 10h00m			
佐伯	97	46	143	21	8日 10h00m			
倉木	1	68	69	23	9日 09h00m			
宇目	6	191	197	49	9日 10h00m			
蒲江	59	54	113	19	9日 09h00m			



降水量分布図 7月8日~9日

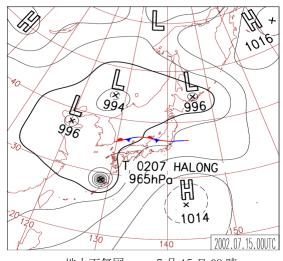
[被害概況]9 日の大雨により、大分市南の乙津川河川敷で増水 した川に流された中学生が約 150m 下流で遺体で見つかった。 大分市、大野郡(犬飼町、野津町、千歳村)、南海部郡(蒲江町、 本匠村)で合計 7 箇所の山がけ崩れがあった。大野郡犬飼町の 県道百枝浅瀬野津線で道路損壊があった他、大分市の国道 210 号線、臼杵市の国道 502 号線、野津町の町道東谷線でそれ ぞれ一部の区間で道路冠水の被害が出た。海上交通では、国 道九四フェリー(佐賀関ー三崎)は、佐賀関発の7 便と三崎発の6 便、佐伯宿毛フェリーは佐伯発と宿毛発のそれぞれ 1 便が欠航し た。ダイヤモンドフェリー(大分ー神戸)は9日22時35分に神戸を出 た便が松山で運航を打ち切った。関西汽船フェリー(別府ー大阪) は、9日17時別府発の便が神戸まで、9日21時大阪発の便を 松山までの運航とした。JR では雨のため、運休や速度規制など でダイヤが乱れた。日豊本線は特急列車2本、普通列車16本が 運休。豊肥本線は特急列車 4 本、普通列車 37 本が運休。久大 本線は普通列車2本が運休となった。

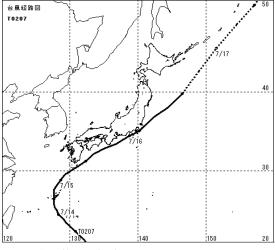
農作物の被害では、大分市で冠水により、ニラが出荷不能になり 約150万円の被害が出た。 また、県内の小・中学校、高校の102校が9日午後、児童生徒を途中下校させた。

T * (-+====			W-06 10 I+	/		
死者 · 行方不明者		1 人	道路損壊	87 か所		
負傷者		1 人	橋の流失	か所		
被災者		人	鉄軌道被害	か所		
	全壊·全焼·流失	棟	山崖崩れ・地滑り	7 か所		
住家	半壊・焼・一部破損	棟	堤防決壊	か所		
正 多	床上浸水	棟	通信施設被害	回線		
	床下浸水	12 棟	木材流失	m ³		
耕地	流失•埋没	0.1 ha	山林焼失	ha		
初起	冠水	16.1 ha	船舶被害	隻		
農業被害			ha	か所		
辰未恢 古				150 万円		
水産業被害			か所			
小座未恢告 			m ³	万円		
林業被害			ha			
			か所	万円		
	陸上	運休 61本	一時不通 8件			
交通	海上	欠航 15便	その他 3便			
	航空					
毒土 小洋抽中						
電力・水道被害						
被害資料の入手先		大分県警察	本部、大分県、大分合同新聞			
報告刊行物						

1096 平成 14年(2002年)7月14日~16日の波浪による海上波浪害(台風第7号)

[気象概況]7月8日03時にトラック島近海で発生した台風第7号は、発達しながら西進し、13日03時には沖の鳥島近海で「大型で非常に強い」台風となった。その後、沖縄近海で北東へ向きを変え、15日18時には勢力を幾分弱め都井岬の南南西の海上に達し、「強い」台風となった。その後、室戸岬の南南西海上を北東へ進んだ。このため、大分県では14日から16日にかけて、南海上から暖かく湿った空気が流れ込み、南部を中心に雨が降り、16日の日降水量は、宇目で71mm、出羽で68mmだった。





地上天気図 7月15日09時

台風第7号経路図 7月14日~16日

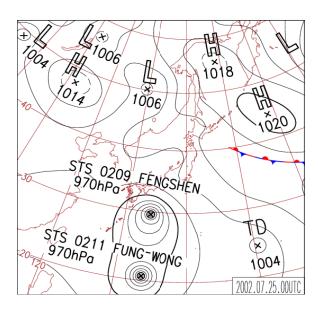
	極値表		
観測項目	観測値	起時	観測地点
最低海面気圧	994.3hPa	15日 18h25m	日田
	7.7m/s 南南東	14日 17h30m	大分
日最大風速・風向	10m/s 南南東	15日 15h00m	蒲江(a)
	12.3m/s 南南東	14日 01h06m	大分空港
日最大瞬間風速・風向	14.9m/s 南	14日 18h08m	大分
	14.9m/s 南南東	14日 01h04m	大分空港

[被害概況]台風第7号の被害は、主に交通障害だった。JRでは日豊本線下りの寝台特急彗星(京都-南宮崎)など上下合わせて12本が運休。フェリーは、15日午後からの大分-四国、関西を結ぶ便は、15時以降ほとんどの便が欠航。16日未明の便も欠航が相次いだ。

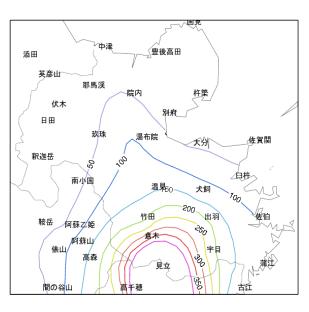
県教育委員会などによると県内の小・中学校、高校の81校が15日午後を臨時休校とした。

1097 <u>平成 14 年(2002 年)7 月 25 日~27 日の大雨・強雨・強風による山がけ崩れ害・強雨</u> 害・強風害(台風第 9 号・11 号)

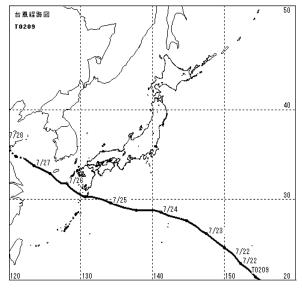
[気象概況]7月14日09時にマーシャル諸島近海で発生した台風第9号は勢力を強めながら西進し、16日21時にはマーシャル諸島近海で「非常に強い」台風となった。その後、西へ進み勢力を弱めながら、25日21時には屋久島付近を通過した後、東シナ海を北西へ進み、27日21時に黄海で熱帯低気圧となった。また、7月21日03時に日本の南海上で発生した台風第11号は発達しながら複雑な動きをし、23日21時には南大東島の南南西の海上へ進み「強い」台風に発達した。その後、勢力を弱めながら北へ進み、27日09時には枕崎市の南海上に達し、27日12時には枕崎市の南南西の海上で熱帯低気圧となった。このため、大分県では25日昼過ぎから26日午前中にかけて、台風第9号に伴う雨雲の通過と、南海上からの湿った空気が流れ込んだ影響で、南部と西部の竹田直入を中心に大雨が降った。また、26日午後から27日にかけて、台風第11号に伴う南海上から暖かく湿った空気が流れ込み、南部と西部の竹田直入を中心に雨が降り続いた。



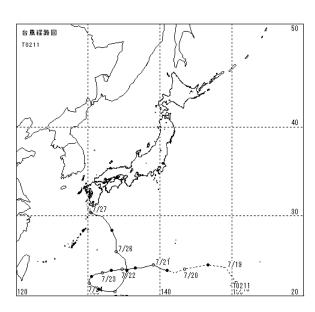
地上天気図 7月25日09時



降水量分布図 7月25日~27日



台風第9号経路図 7月22日~27日



台風第 11 号経路図 7月 19 日~27 日

	7月25日~27日の日別降水量(単位:mm)と日最大風速・風向								
観測地点	25日	26日	27日	日別降水量合計	日最大	1時間降水量·起時	日重	曼大風速	·風向·起時
国見	1	4	0	5	2	26日 08h00m	6	北北東	25日 22h00m
中津	4	7	0	11	3	26日 17h00m	10	東南東	26日 09h00m
豊後高田	3	1	0	4	2	25日 19h00m	11	南東	26日 18h00m
耶馬渓	13	14	0	27	4	25日 24h00m			
院内	18	44	1	63	8	26日 05h00m	5	東北東	26日 04h00m
杵築	4	1	0	5	2	25日 18h00m	7	北東	25日 20h00m
伏木	7	3	0	10	3	25日 18h00m			
日田	4	0	0	4	2	25日 18h00m	5	東	26日 15h00m
別府	18	17	0	35	7	25日 18h00m			
玖珠	22	9	0	31	4	26日 01h00m	13	東南東	26日 02h00m
湯布院	21	87	1	109	9	26日 10h00m	6	東	27日 11h00m
大分	26	18	0	44	6	25日 24h00m	10	東南東	26日 04h00m
佐賀関	11	2	0	13	3	25日 18h00m			
釈迦岳	14	1	0	15	3	25日 19h00m			
臼杵	40	35	0	75	12	25日 19h00m			
温見	81	60	3	144	15	25日 24h00m			
犬飼	60	59	4	123	10	25日 23h00m	4	東	26日 01h00m
竹田	77	65	9	151	15	25日 24h00m	4	東南東	26日 14h00m
出羽	110	124	10	244	18	25日 19h00m			
佐伯	64	38	0	102	14	25日 18h00m	7	南南東	26日 11h00m
倉木	168	135	22	325	32	25日 20h00m			
宇目	123	102	18	243	21	25日 19h00m	5	東	26日 05h00m
蒲江	104	27	0	131	20	25日 18h00m	8	南	26日 09h00m

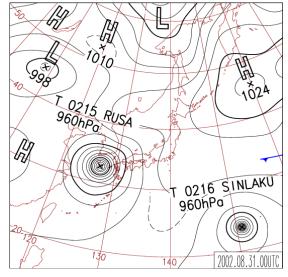
[被害概況] 25 日から 27 日の大雨により山がけ崩れ等の被害があった。25 日大野郡大野町大字北園で強風により、住居裏山にある直径約 40cm の木が倒れ、屋根に穴があいた。26 日下毛郡耶馬渓町大字金古町道「島床波線」でがけ崩れに伴い約 3 トンと1 トンの落石があり町道を塞いだ。大野郡緒方町大字尾平県道「緒方高千穂線」でがけ崩れにより約 6 ㎡の土砂が道路を塞いだ。農業被害では、大雨のため、野菜、果樹、花卉の農作物と、ビニールハウスの倒壊等農業関係施設に被害が発生した。

JRでは25日に日豊本線で下り普通列車に遅れが出た。26日、日豊本線は、強風のため津久見駅-佐伯駅間で運転を見合わせ、上下線合わせて特急列車12本と普通列車18本が運休した。久大本線は、10~20分の遅れで運転。豊肥本線は10~20分の遅れがあり、普通列車2本が運休した。高速パスでは25日、大分-鹿児島間の1便が運休した。海上交通では、佐伯・宿毛フェリーが25日に2便、26日に4便欠航した。26日は、宇和島運輸フェリー(別府-三崎)が4便、九四フェリー(臼杵-八幡浜)が2便、ソルイュ(別府-広島、呉)は全4便が欠航した。

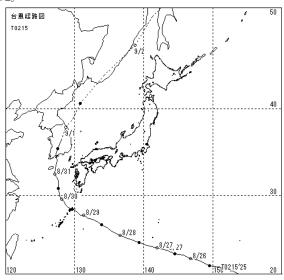
		被害状況			
死者•行方不明者		人	道路損壊	17	か所
負傷者		人	橋の流失		か所
被災者		人	鉄軌道被害		か所
	全壊・全焼・流失	棟	山崖崩れ・地滑り	2	か所
住家	半壊•焼•一部破損	1 棟	堤防決壊		か所
正 承	床上浸水	棟	通信施設被害		回線
	床下浸水	棟	木材流失		m^3
耕地	流失•埋没	9.1 ha	山林焼失		ha
初地	冠水	ha	船舶被害		隻
農業被害			33 ha	88	か所
辰未似 古				14944	万円
水産業被害			隻		か所
· 八座来版音					万円
林業被害				ha	
			か所		万円
	陸上	運休 33本			
交通	海上	欠航 16便			
	航空				
電力・水道被害					
被害資料の入手先		大分県警察本	部、大分県、大分合同新聞		

1098 平成 14 年(2002 年)8 月 29 日~9 月 1 日の大雨・強風・波浪による山がけ崩れ害・ 強風害・海上波浪害(台風第 15 号)

[気象概況]8月23日09時にウェーク島近海で発生した台風第15号は勢力を強めながら西北西へ進み、26日21時には南鳥島近海で「大型で強い」台風となった。29日09時には名瀬市の東南東の海上へ進み、30日09時には屋久島の西南西の海上に進んだ。その後、「強い」勢力を保ちながら、東シナ海を北上した。31日夜には朝鮮半島に上陸し、その後、9月1日09時に日本海西部で熱帯低気圧となった。台風第15号の動きが遅かったため、大分県では長時間にわたって、南海上からの暖かく湿った空気が流れ込み大気の状態が不安定となった。このため、南部と西部の竹田直入を中心に大雨となり、期間降水量は宇目で238mm、出羽で217mm、竹田で183mmに達した。また、沿岸部を中心に強風が吹き、31日には大分空港で南南東の風23.1m/s、大分で南東の風20.5m/sの最大瞬間風速を観測した。



地上天気図 8月31日09時



台風第15号経路図 8月26日~9月1日

4	./ </th
頂吉	V -
行橋	
中津	
添田 豊後高田	
→ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
英彦山耶馬渓	
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
伏木 527	
別痕	
76.74	
以珠 湯布院 大分	佐賀関
秋迦岳	J
50	<u></u>
南小国温見大飼	自持。
温見 犬飼	/ CVI
мт 1 ₅₀ шза	//
鞍岳 阿林 万	佐伯
50 画本	L MA
阿藤山 東日	/ 5
見立 350 公	177 V-744
間の谷山(高千穂	古红
16102 H HH // / / / / / / / / / / / / / / /	7/4

降水量分布図 8月29日~9月1日

極値表(大分地方気象台)								
観測項目	観測値	起時·期間						
日最大風速·風向	10.4m/s 南東	31日 13h30m						
日最大瞬間風速·風向	20.5m/s 南東	31日 09h51m						
期間降水量(平年比)	49.5mm(169%)	8月29日~9月1日						
最大日降水量	43.5mm	30日						
日最大1時間降水量	13.5mm	n 30日 17h23m						
日最大10分間降水量	7.5mm	n 30日 17h05m						
日最低海面気圧	997.6hPa	31日 15h11m						

8月29日~9月1日の日別降水量(単位:mm)と最大風速・風向(単位:m/s)							
観測地点	29日	30日	31日	1日	日別降水量合計	日最	大風速・風向・起時
国見	0	5	5	0	10	8	南 31日 15h00m
中津	0	10	0	0	10	10	東南東 30日 15h00m
豊後高田	0	43	12	0	55	13	東南東 31日 06h00m
耶馬渓	0	10	0	0	10		
院内	0	39	4	0	43	9	南 31日 12h00m
杵築	0	15	3	0	18	10	東南東 31日 06h00m
伏木	1	2	1	0	4		
日田	0	0	2	1	3	5	南 1日 15h00m
別府	0	49	5	0	54		
玖珠	3	14	1	3	21	13	南東 31日 03h00m
湯布院	0	45	0	0	45	5	東 29日 09h00m
大分	2	43	5	0	50	10	南南東 31日 13h00m
佐賀関	0	11	31	7	49		
釈迦岳	3	3	20	14	40		
臼杵	3	80	66	12	161		
温見	×	×	×	×	障害による休止		
犬飼	12	70	31	1	114	5	南 31日 15h00m
竹田	53	87	42	1	183	5	西 1日 03h00m
出羽	37	116	64	1	218		
佐伯	10	53	18	7	88	9	南南東 31日 16h00m
倉木	×	×	×	×	障害による休止		
宇目	36	125	77	19	257	7	南 31日 17h00m
蒲江	10	12	3	3	28	17	南南東 31日 10h00m

[被害概況] 30 日午後、強風で街路樹が高圧線に接触し、大分市岩田町と周辺の 5,000 戸が 2 度停電した。いずれも約 5 分後に復旧した。津久見市日見では電線が切れ、約 20 分間、約 2,300 戸が停電した。臼杵市東神野では竹が電線に触れ、約1時間 30 分間、100 戸で停電が起きた。31 日 02 時 30 分頃、大分市角子南で駐車場が長さ約 40m、幅約 4mにわたって崩れ落ちた。現場付近に駐車している車はなく、けが人もなかった。

農業被害では、31日に強風によりビニールハウス 218 箇所の被害が出た。また、小ネギ、白ネギの倒伏、梨等の果実に被害が出た。交通障害では、JR 日豊本線で、30日の始発から臼杵駅一佐伯駅間の運行を見合わせた。同日夕、宗太郎駅(宇目町)一市棚駅(宮崎県北川町)間の運行を一時見合わせた。31日朝から続いた宗太郎駅(宇目町)一市棚駅(宮崎県北川町)間の運行を一時見合わせた。31日朝から続いた宗太郎駅(宇目町)一市棚駅(宮崎県北川町)間の運行見合わせを 17時 50分に解除した。鹿児島本線の運行規制の影響もあり、部分運休を含めて特急列車 22本と普通列車 18本が運休した。航空便では 31日、強風のため日本エアシステム 4 便が欠航。全日空は大阪発大分行きの 1 便が、福岡空港に着陸。このため、折り返しの大分発東京行き 1 便が欠航した。エアニッポンの 2 便は、悪天候のため遅れが出た。フェリーも 29日から31日にかけ、宇和島運輸、佐伯宿毛フェリー、国道九四フェリー、高速船ツレイユ、スオーナダフェリーの欠航が相次いだ。[フェリーの欠航状況] 29日:宇和島運輸(別府一三崎)4便、(別府一八幡浜)1便、佐伯宿毛フェリー(佐伯一宿毛)5便、国道九四フェリー(佐賀関一三崎)10便。30日:宇和島運輸(別府一三崎)4便、(別府一八幡浜)朝の1往復を除いた便、スオーナダフェリーは夜の1往復、高速船ツレイユ全便。31日:国道九四フェリー、スオーナダフェリー、高速船ツレイユの全便。

被 害 状 況						
死者·行方不明者		人	道路損壊	25 か所		
負傷者		人	橋の流失	か所		
被災者		人	鉄軌道被害	か所		
	全壊・全焼・流失	棟	山崖崩れ・地滑り	1 か所		
/	半壊•焼•一部破損	棟	堤防決壊	か所		
住家	床上浸水	棟	通信施設被害	回線		
	床下浸水	棟	木材流失	m^3		
耕地	流失•埋没	4.6 ha	山林焼失	ha		
耕地	冠水	ha	船舶被害	隻		
農業被害			218 か所			
辰未似 古				9925 万円		
水産業被害			か所			
小庄未似古			m ³	万円		
林業被害			ha			
林未似告			5020万円			
	陸上	運休 40本				
交通	海上	欠航				
	航空	欠航 5便 遅延 2便 その他 1便				
電力·水道被害		送電線切断 3件 停電 7400戸				
			·			
被害資料の入手先		大分県、大分合	。 同新聞			
		•				